



2006年8月に、皆さんの大きなご支持で議会へと送っていただき早4年が過ぎ、4人の子を持つ母親として、様々なことに取り組んできました。子育てに係わる問題の重要さを改めて感じ、市民の生活を守る責任を果たさなければと頑張っています。やればやるほど多くの問題に直面し、課題は増えていることを痛感しています。

この間、公立保育所の存続や小規模工事登録制度の実施などを実現してきました。更に、中学校給食の実施、通学費の自己負担解消をはじめ子どもたちの健全な成長と高齢者が元気に生活できるように、引き続き皆さんとともに力を尽くします。どうか皆さんの大きなお力添えを
お願い致します。

議会報告

三原の 意見

早急な保育所民営化は再考を

5月25日の全員協議会で公立保育所民営化実施計画見直し案が提示された。全園民営化計画をとりやめ、4園のみ公立園を残すことになった。

公立保育所の保護者の声は…



ベテランの保育士さんがいるので安心して子どもを托せる



障害児保育が充実している子どもと共に保護者へもいつも励ましてくれてありのままを受け止めてくれる



働きながらの子育てに悩みはつきもの保育士さんがいろいろな相談にも丁寧に応えてくれてとてもたすかる

公立保育所には長年にわたり
培われた得がたい価値があります
名張市の大切な財産です



公立保育所運営の財政見直し 三原じゅん子の指摘どおりに

市は「〈早期健全化団体〉におちいるから公立保育所を全園民営化する」と言っていました。国からの交付税が見直され、「全園民営化しなくても〈早期健全化団体〉にはならない」と主張を変えました。このことは当初三原じゅん子が「全園民営化しなくても財政難におちいることはない」と指摘していたとおりです。

このように、名張市が進めてきた保育所全園民営化計画は詰め甘い、ずさんなものであったといえます。

民営化は検証なしに進められています

「保護者の理解を必要とする」と公立保育所民営化要綱の中に明記されています。既に民営化された4園の説明会では保護者からの意見はあまりなく、市は「保護者の理解を得た」としました。しかしこれは保護者が民営化に賛同したというよりは、民営化のプラス・マイナスの判断基準が行き渡っていなかったのではないのでしょうか？そしてこれら既民営化園の検証もないまま、次年度民営化園の手続きが進んでいます。

蔵持保育所、99%の民営化反対署名

来年度民営化予定の蔵持保育所では保護者が公立存続を求めた1177人の署名とアンケートを市に提出しました。「保護者の理解を得た」とは到底言えない状況です。名張市子ども政策室は「真摯に受け止め熟読する」と答えたそうですが、保護者の切実な想いに市がどう対応するのか、要綱に反することはないか、三原はきびしくチェックしたいと思っています。

お詫びと訂正

前号で「義務教育は無償という学校教育法に照らし合わせると…」との表記がありましたが学校教育法ではなく、憲法26条でした。お詫びして訂正します。